

授業科目	* 相談援助の理論と方法Ⅱ				単位	4		
履 修	必修	関連資格	社会福祉士 保育士		ナンバリング	WE21206J		
開講年次	3	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-2			
担当教員	中川 美幸							
授業概要	前期の授業では、グループを用いた相談援助や地域を基盤とした相談援助の理論と方法について解説する。後期の授業では、ジェネラリスト・ソーシャルワーク実践の基盤となる様々な理論モデルやアプローチについて解説する。前期・後期を通して様々な相談援助事例を取り上げ、人びとが直面する困難を「人と環境との相互作用の中で生じた問題」と捉える視点とソーシャルワークの実際について解説する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 様々な生活上の問題を人と環境との相互作用の中で生じる事象として考察することができる。 2. グループを用いた相談援助の実践原則と展開過程について説明できる。 3. 地域生活の維持を可能にする社会資源の活用・調整・開発、ネットワーキング、ケアマネジメントについて説明できる。 4. ジェネラリスト・ソーシャルワークの視点について説明できる。 5. 理論モデルやアプローチの基本的な視点とそれに基づく援助の展開について説明できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)	10						10	
知識・理解 (DP1-2)	30						30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	30						30	
思考・判断 (DP2-2)	5					5	10	
関心・意欲 (DP3-1)						5	5	
関心・意欲 (DP3-2)	5					5	10	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)						5	5	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
様々な生活上の問題が生じている相談事例に関して、人と環境との相互作用の中で生じている事象として考察することができる、グループの活用やケアマネジメント、社会資源の活用・開発、ネットワーキングによる介入、様々な理論モデルに基づいた問題状況の把握、アプローチを応用した介入の方法など、総合的かつ包括的な相談援助の方法について考察することができる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉的問題の生じている状況について、人と環境との相互作用の中で生じている問題として説明することができる。 2. グループを用いた相談援助の実践原則と展開過程について説明できる。 3. 地域生活の維持を可能にする社会資源の活用・調整・開発、ネットワーキング、ケアマネジメントについて説明できる。 4. ジェネラリスト・ソーシャルワークの視点について説明できる。 5. 理論モデルやアプローチの基本的な視点とそれに基づく援助の展開について説明できる。 				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ: 相談援助における対象の理解 相談援助における対象理解の視点について解説する	講義	授業内容についての復習	60
2	テーマ: グループを活用した相談援助1 グループワークの意義、グループワークの基本的枠組み、理論モデルの特徴について解説する	講義	授業内容についての復習	60
3	テーマ: グループを活用した相談援助2 グループワークの展開過程、実践原則について解説する	講義	授業内容についての復習	60
4	テーマ: グループを活用した相談援助3 自助グループ等、グループを活用した援助について解説する	講義	授業内容についての復習	60
5	テーマ: 地域を基盤としたソーシャルワーク 地域社会における課題と地域を基盤とした総合的かつ包括的な支援の考え方について解説する	講義	授業内容についての復習	60
6	テーマ: ケアマネジメント1 ケアマネジメントの目的と過程について解説する	講義	授業内容についての復習	60
7	テーマ: ケアマネジメント2 ケアマネジメント事例を用いて、ケアマネジメントの実際とケアプラン作成について解説する	講義	授業内容についての復習	60
8	テーマ: ケースカンファレンス ケースカンファレンスの意義と目的、運営と展開過程について解説する。	講義	授業内容についての復習	60
9	テーマ: コーディネーション コーディネーションの目的と意義、方法について解説する	講義	授業内容についての復習	60
10	テーマ: ネットワーキング ネットワーキングの意義と目的、方法について解説する	講義	授業内容についての復習	60
11	テーマ: 社会資源の活用・調整・開発 社会資源活用の意義と目的、調整・開発の方法と留意点について解説する	講義	授業内容についての復習	60
12	テーマ: ソーシャルアクション ソーシャルアクションとアドボカシー、ソーシャルアクションの展開過程について解説する	講義	授業内容についての復習	60
13	テーマ: 相談援助における個人情報の保護 個人情報保護の考え方、個人情報保護の制度、相談援助における個人情報保護の課題について解説する	講義	授業内容についての復習	60
14	テーマ: 相談援助における ICT の活用 相談援助における ICT の活用、その留意点について解説する	講義	授業内容についての復習	60
15	テーマ: スーパービジョンとコンサルテーション スーパービジョンの意義・目的・方法と留意点、コンサルテーションの意義と目的について解説する	講義	授業内容についての復習	60
16	テーマ: ジェネラリスト・ソーシャルワーク ジェネラリスト・ソーシャルワークの基本的視点と中核理論となる治療モデル、生活モデル、ストレングスモデルについて解説する	講義	授業内容についての復習	60
17	テーマ: 心理社会的アプローチ・機能的アプローチ	講義	授業内容についての復習	60

	心理社会的アプローチと機能的アプローチの基本的視点、問題の捉え方や介入の方法について解説する			
18	テーマ:問題解決アプローチ 問題解決アプローチの基本的視点、問題の捉え方や介入の方法について解説する	講義	授業内容についての復習	60
19	テーマ:行動変容アプローチ 行動変容アプローチの基本的視点、問題の捉え方や介入の方法について解説する	講義	授業内容についての復習	60
20	テーマ:課題中心アプローチ 課題中心アプローチの基本的視点、問題の捉え方や介入の方法について解説する	講義	授業内容についての復習	60
21	テーマ:危機介入アプローチと災害ソーシャルワーク 危機介入アプローチの基本的視点、問題の捉え方や介入の方法、災害ソーシャルワークの基本的視点について解説する	講義	授業内容についての復習	60
22	テーマ:認知アプローチ 認知アプローチの基本的視点、問題の捉え方や介入の方法について解説する	講義	授業内容についての復習	60
23	テーマ:ナラティブアプローチ 社会構成主義の基本的視点と、ナラティブアプローチの「問題」の捉え方や介入の方法について解説する	講義	授業内容についての復習	60
24	テーマ:エンパワメントアプローチ エンパワメントアプローチの基本的視点、問題の捉え方や介入の方法について解説する	講義	授業内容についての復習	60
25	テーマ:フェミニストアプローチ フェミニストアプローチの基本的視点、問題の捉え方や介入の方法について解説する	講義	授業内容についての復習	60
26	テーマ:解決志向アプローチ 解決志向アプローチの基本的視点と、「問題」の捉え方や介入の方法について解説する	講義	授業内容についての復習	60
27	テーマ:実存主義アプローチ 実存主義アプローチの基本的視点、問題の捉え方や介入の方法について解説する	講義	授業内容についての復習	60
28	テーマ:社会的孤立・排除事例における相談援助の実際 社会的孤立・排除事例の分析を通して、アセスメントと介入の視点、面接技術について解説する	講義	授業内容についての復習	60
29	テーマ:虐待事例における相談援助の実際 虐待事例の分析を通して、アセスメントと介入の視点、面接技術について解説する	講義	授業内容についての復習	60
30	テーマ:家族支援の実際 複合的な課題を抱える家族の事例を通して、家族理解と支援のための視点と相談援助の実際について解説する	講義	授業内容についての復習	60
理解に必要な予備知識や技能	「相談援助の基盤と専門職」「相談援助の理論と方法1」で学んだ内容を理解しておきましょう			
テキスト	新・社会福祉士養成講座8 『相談援助の理論と方法2』 第3版 中央法規出版 社会福祉士養成講座編集委員会 編			

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業の中で参考図書を紹介します
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	この科目で学ぶ用語は、相談援助の実践において道具となるものです。繰り返し復習して、用語を適切に用いることができるよう理解しましょう。必要に応じて、心理学や社会学、地域福祉論などで学んだ内容についても復習し、概念や用語についての理解を深めましょう。
達成度評価に関するコメント	定期試験の成績と「その他」(授業のコメントカードへの記入内容)とを総合して、達成度を評価します。詳細は授業で説明します。